

# 標津町

## 新たな特用林産物資源開発事業 “鮭ちょうちん”プロジェクト

標津町役場農林課 林政・自然環境係  
地域おこし協力隊（森づくり支援員）  
小林 和楽

## 00 自己紹介

標津町役場農林課 林政・自然環境係  
地域おこし協力隊（森づくり支援員）

こばやし あいら  
小林 和楽

東京出身

地域おこし協力隊2年目

主な業務内容：森林整備、野生鳥獣、特用林産物



## 01 町について

# 標津町ってどんなところ...？

北海道の最東部、知床半島と根室半島の上に位置し、  
約20km東には国後島が存在します

人口：4,793人（R6.12）

主要産業：酪農業

漁業（サケ、ホタテ等）

過去には秋ザケ水揚げ量日本一にも



シベツ=アイヌ語で『サケのいるところ』、『大きな川』

鮭の聖地として日本遺産にも登録！

A large salmon is resting on a rocky riverbank. The fish is the central focus, with its body angled towards the right. The background shows the river water and more rocks. The text is overlaid on the image in white.

標津のシンボル『鮭』を和紙で作ろう！

それが 鮭ちゃん

なんで和紙???

# 標津町では和紙原料 『ノリウツギ』の採取事業を実施



# ノリウツギとは

### アジサイの仲間

4~8mほどの低木。湿原や森林など広い環境に生息。標津町には多く自生。



### 和紙の原料

内樹皮から取れるネバネバした成分がネリとして和紙漉きに使われる。



### うだがみ 宇陀紙に必須

文化財の修復に用いられる手漉き和紙。奈良県吉野町でのみ生産される。



### 生産地減少

収奪的な採取や、シカの食害によって大きく減少。採取者もいなくなった。



## 02 事業背景

このままではノリウツギの確保ができず、和紙漉きや文化財修理にも影響が出てくる...

### 令和4年度からノリウツギの採取事業を開始 標津町ノリウツギ・プロジェクトがスタート

#### ①日本の文化財修理・和紙文化を支える

- ・ 日本文化の継承に寄与するという社会貢献
- ・ 文化財保護を支えているという町のPRや町民の誇りにつながる

#### ②持続可能な地域資源の産地形成

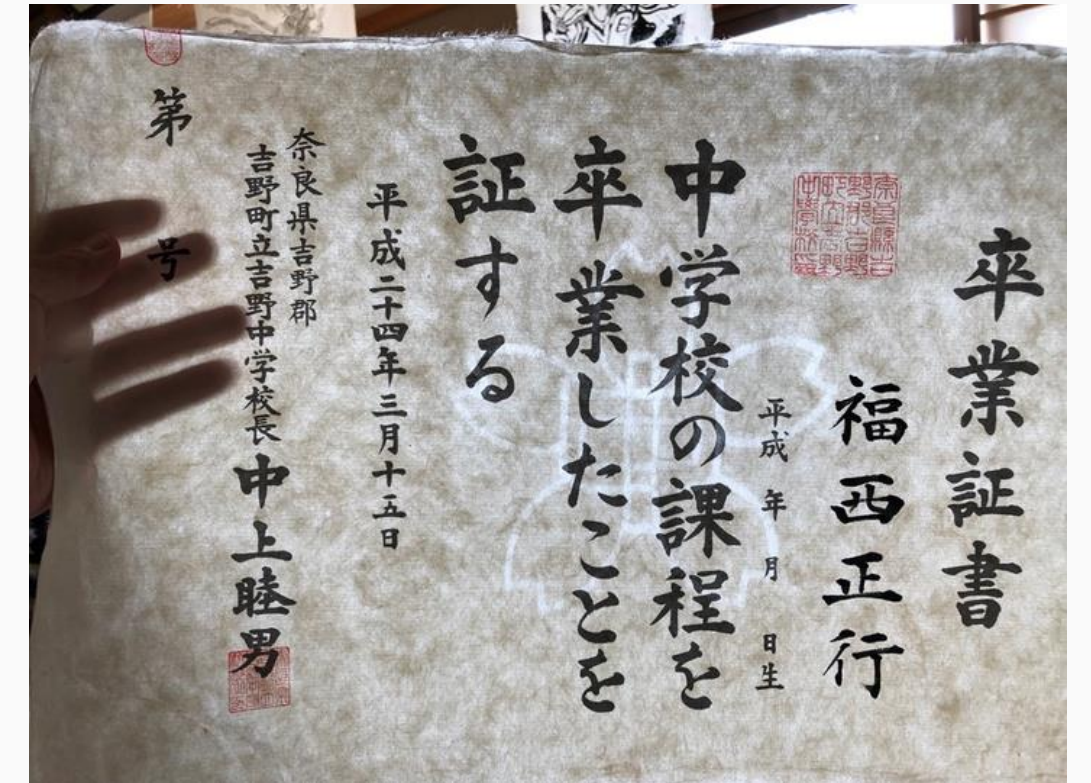
- ・ 未利用資源の活用、新たな雇用機会の創出、産地を通じた地域間の交流

## 02 事業背景

継続的に進めるには地域住民の理解が不可欠...

### 現在の取り組み

- 手漉き和紙体験
- 卒業証書作成
- うちわ作成



### 新たな取り組み

町のシンボル

新地域資源

鮭 + ノリウツギ = 鮭ちようちん



- ・ 町民参加型の作成会
- ・ 鮭ちょうちん展示会



## 03 事業結果

### 2種類のちょうちんを作成

奈良県吉野町の手漉き和紙を使用

#### 鮭ちょうちん

大きなものは1.5m

地元デザイナーに作成を委託



#### いくらちょうちん

作成は比較的簡単

展示映えするには数が必要

→町民参加型で作成会を実施



# 03 事業結果

## いくらちょうちん作成会



**いくらちょうちん 作成会**

6.17 月 川北 生涯学習センター 参加費無料  
6.18 火 標津 生涯学習センター 10:00-16:00

標津の新シンボルとなる  
鮭ちょうちんプロジェクト始動!

第一弾は親子で作れる  
いくらちょうちん作成会

作ったちょうちんは  
7月のサーモンパーク企画展に  
使用させていただきます

上手にできるかな?

標津産ノリウツギ  
使用和紙

1時間半ほどで作成可能です  
お好きな時間にお越しください

自由に作ってみよう♪

お申し込み先 電話or二次元コードより受付  
標津町役場農林課  
TEL 0153-85-7244

※飛び込み参加もOKですが  
混雑状況によってはお待ち  
いただく場合があります



## 03 事業結果

# 標津サーモン科学館で展示会

特別展『鮭ちょうちん～和紙がつむぐ物語～』



**特別展**  
**鮭ちょうちん**  
～和紙がつむぐ物語～

7/13(土)から  
～11/30(土)まで  
\*展示の日程は変更となる場合がございます。

場所：サーモン科学館2階、および館内  
住所：北海道標津郡標津町北1条西6丁目1-1

鮭ちょうちんが  
サーモンパークを  
明るく灯す。

鮭ちょうちん

いくらちょうちん

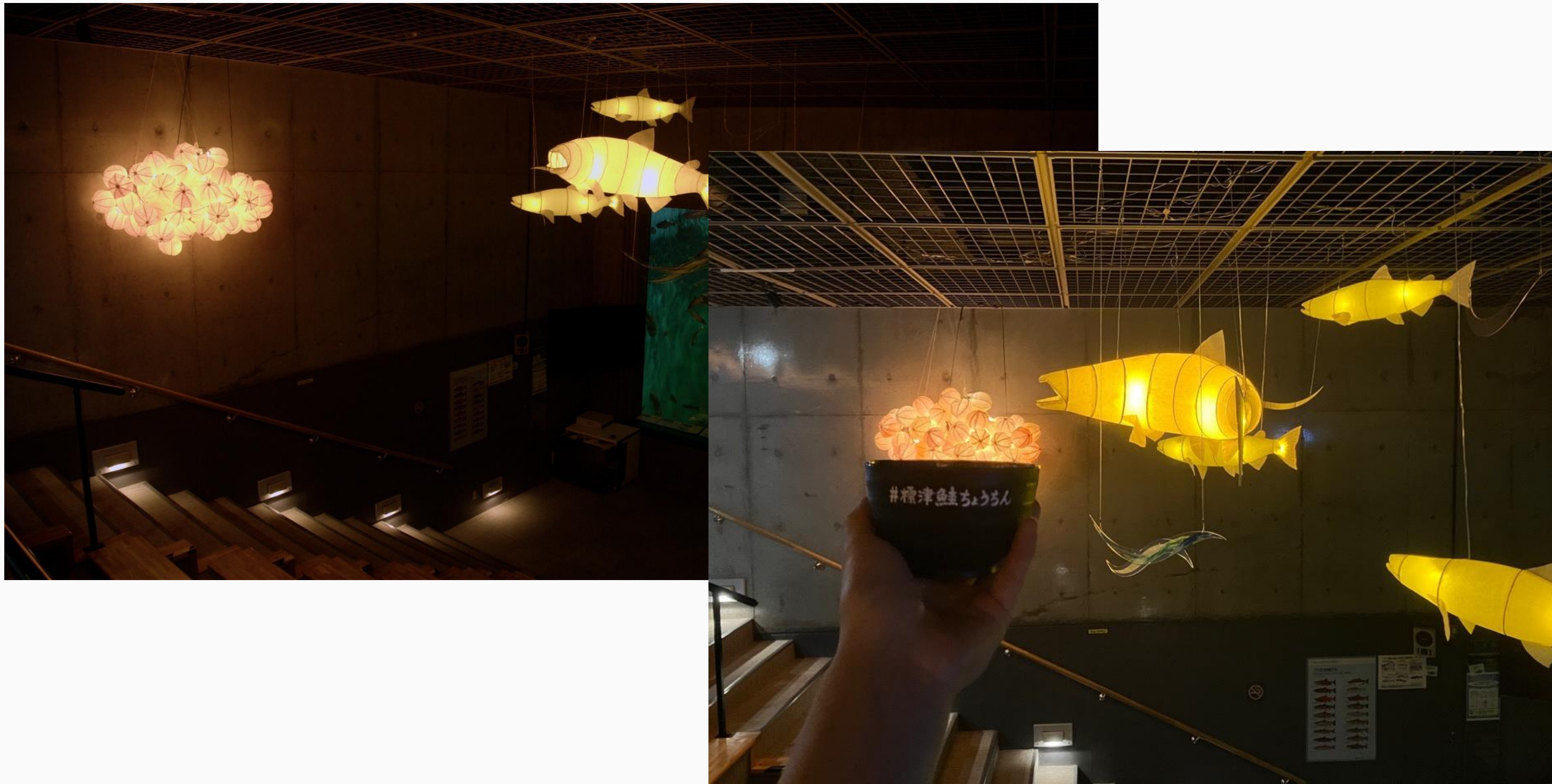
和紙を多く集めて  
いくらちょうちんに!

国宝や重要文化財の掛け軸の修理にかかせない和紙「宇陀紙(うだがみ)」。  
その原料の一つであるノリウツギの採取事業「ノリウツギプロジェクト」が標津町にて発足しました。  
文化財修理と和紙文化の持続的な継承を支えるため、また新たな地域資源に発展させるための事業です。  
今回の特別展では、ノリウツギや和紙を標津町の新たな文化の一つとして定着させることを目的とし、  
標津町の古くからのシンボルの一つである鮭とコラボ！「鮭ちょうちん」をテーマに展示会を開催します。  
6月17・18日に町内で行われた提灯作りのイベントにて、町民の皆さんに作成いただいた  
「いくらちょうちん」も合わせて展示いたします。ぜひ、ご来場ください！

お問い合わせ 標津町役場農林課  
☎ 0159-85-7244 ✉ rinmu@town.ehbetsu.lg.jp

\*本事業は、エア・ウォーター北海道(株)の「ふるさと応援Hプログラム」の支援を受けています。

# 03 事業結果



## 03 事業結果



# 03 事業結果



# 本事業を通して



### 幅広い年代の参加

低学年の子供にも色付けで関わってもらえることができ、幅広い層に参加してもらった。

### 普及啓発の促進

展示会には町内外問わず多くの来客があり、ノリウツギや和紙に関する普及啓発が進んだ。町の夏祭りで和紙を使いたいという新たなオファーもきた。

### 継続的活動

鮭ちょうちんはサーモン科学館で展示が継続。いくらちょうちんは町のイベントで利用予定。ちょうちんの作成キットの商品化も検討。





ご支援

エア・ウォーター ー北海道株式会社 様

協力

標津サーモン科学館

福西和紙本舗

標津町森林組合

株式会社ゼンパ

株式会社吉田電器

